

梅田中学校だより
令和6年 3月 1日
校長 柴田佳世子

梅の香り



学校評価アンケートの集計結果

PTAの皆様が植えてくださったサブグラウンドわきのチューリップが芽を見せ始めています。寒さを乗り越え育っていく様子を見てみると、生徒が成長していく姿と重なり、愛おしい気持ちになります。

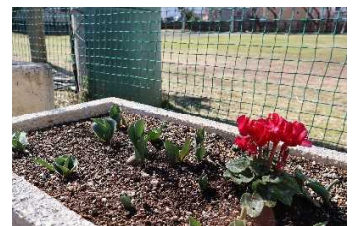
学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。3年間続いたコロナ禍での教育活動でしたが、令和5年度は、ようやくコロナ感染症による活動制限も落ち着き始め、通常の学校教育活動を行うことが徐々に可能となった1年でした。

今年度の学校評価アンケートは、生徒調査15項目、保護者調査17項目で実施しました。集計結果一覧を見ると肯定的な回答が80%以上の項目が生徒調査で13項目、保護者調査で9項目、70%以上の項目が生徒調査で1項目、保護者項目で4項目ありました。全ての内容をご載せることは出来ませんので、一部を紹介いたします。

「学校は、安心安全な居場所になっていますか」の調査項目で肯定的な回答は生徒、保護者共に9割近くとありますが、昨年度より評価は低くなっています。また、「先生方は、あなたのことを理解してくれていますか」の調査項目では肯定的な回答の生徒は9割近くあるものの、保護者の肯定的な回答は8割に満たないものとなっています。生徒回答は昨年度とほぼ変化はありませんが、保護者の皆様からの回答は厳しいものとなっております。これは、「お子さんは学校生活に満足していますか」の調査でも同様のことがうかがえます。家庭との連携については、肯定的な回答が90%となっていることから考え、保護者の皆様がお子さんの様子を見ている中で、学校生活や教員の関わりに課題を感じているのではないかと分析しています。保護者の皆様に安心していただけるよう、お子さんの活動や学校の様子をご覧いただく機会をさらに設定したり、学校の様子を発信したりするなど取り組んでいきたいと思っております。また、9割近い生徒の肯定的な回答に甘んじることなく、教育相談の充実や相談しやすい人間関係づくりに取り組み、生徒達の心の安定を図り、充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。

「わかる授業、参加しやすい授業」「多様な学力を育成するための授業の工夫」や「単元ごとの評価を次の学びへ生かす」調査項目については、この数年肯定的な回答が数%ずつですが増加の傾向です。生徒の皆さんが学習に関心を持ち、意欲的に取り組んでいることがうかがえます。今後も、一人一台端末の活用や生徒の皆さんの思考力育成を意識し、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて授業づくりを進めていきたいと思っております。

学校教育目標「豊かな人間性とたくましい生活力をもった生徒の育成」のもと、生徒の心に丁寧に寄り添い、さらなる成長を目指して、今後も教育活動に励んでまいります。最後になりましたが、保護者の皆様には令和5年度の本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことを、心より感謝いたします。



PTAの皆様が植えてくださったチューリップが芽を見せ始めました